

いわみぎわ



所在地 陸奥市日ノ出台1-3
電話 (0126) 45-2721
FAX (0126) 45-2721

年頭の挨拶



第12施設群司令部
駐屯地長 佐司 憲
第1等 得田

新年明けましておめでと
うございます。岩見沢駐屯地
の隊員及び御家族並びに当駐
屯地のOBの皆様も、よい年
をお迎えのこととお喜び申し
上げます。

昨年は第十二施設群から九
十七名の隊員がUNITAC第

迎春



平成6年

今年、我々の明日のため
に、十年後、二十年後の後輩
のために、隊員及びその御家
族も含めて我々の駐屯地の将
来像と施設科部隊の将来の姿
を、基本に立ち返り考えて行
きたいと思っております。

も岩見沢駐屯地の諸先輩が地
域の方々のご理解と御協力を
得ながら真摯に隊務を運営し
てきたお陰であり、その伝統
をしっかりと受け止めてきた隊
員及びその御家族の方々の御
苦勞が立派な成果として花開
いたものであり、現職駐屯地
司令として皆様に心から感謝
をしております。

さて、今年も冷戦構造の崩
壊に始まった戦略環境の激変
に対し、わが国がどのように
してその安全保障を全うする
かという国家として、最も重
要な事項が国民の各界・各層
を巻き込んで様々な観点から
議論される年になるものと予
想されます。

また、昭和二十八年に幕を
開けた駐屯地も昨年で四十年
の歴史を刻み、創立四十周年
の記念行事を滞りなく執り行
うことができました。これら



岩見沢市長
能勢 邦之

隊員の皆様、明けましてお
めでとうございます。御家族
お揃いで明るい新春をお迎え
のことと心よりお慶び申し上
げます。

日頃から、自衛隊の皆様は
国を守ることに大きな誇りを
持ち、日夜厳しい訓練に耐
え、平和維持遂行のため、た
ゆまゆめ努力を続けておられ
ることに深く敬意を表します。
また、当市地域住民への協力
等イベントへの参加、スポー



第12施設群司令部
駐屯地長 佐司 憲
第1等 得田

平成六年の輝かしい新春を
迎えるに当たり、隊員の皆さ
んと御家族の御清福をお祈り
申し上げます。

さて、昨年は岩見沢駐屯地
より九十七名の隊員の皆さ
んが生活基盤が不十分で厳し
いカンボジアで、日本を代表
して平和的国際貢献の任務を
立派に遂げられたこと、
市民の一人として心から
感動を覚えますと同時に、カ
ンボジアを救った皆さんの大
きな努力に対し、世界の多く



第12施設群司令部
駐屯地長 佐司 憲
第1等 得田

「光陰矢の如し」激動の平
成五年も去りにこに平成六年
の新春を迎えるとともにその
門出をお祝いできますことを
心からお喜び申し上げます。
昨年はソ連の崩壊により世
界の秩序は転機を迎えまし
た。各地に頻発する国内外的
紛争、世界経済の不況低迷、

ツや文化活動等当市の発展に
対し大きく寄与されておられ
すことに市民と共に深く感謝
しているところであります。
昨年は、国際平和維持活動
のため日本を代表して九十七
人の隊員の皆様が高温多湿の
気候に加え、生活基盤が必ず
しも十分ではないカンボジア
で、卓越した技術力と強固な
団結心を持って国際貢献の任
務を成し遂げられたことに感
謝を申し上げるとともに、留
守を預かり、陰で支えた御家
族の皆様、岩見沢駐屯地の皆
様に對して重ねて感謝を申し
上げます。

また、岩見沢市は、開基百
十年・市制施行五十周年の記
念すべき年でありました。平
成五年十月一日に多くの市民
の皆様参加による「記念式
典」において「水と緑と文化
のプログラム」をテーマ
に、未来に向かって「新しい
ふるさとづくり」を皆様と一
緒に進めていく決意をした年
でした。

また、昨年は駐屯地が創立
して四十周年、第十二施設群
創設十八周年を迎えられ、今
日までの輝かしい実績を思い
起こしますと、得田司令さん
や歴代司令さんをはじめ幹部
諸氏のご指導は勿論のこと、
隊員の皆さんが組織として
一人ひとりが素直で誠意あ
り活発な姿勢で、誠に喜ば
しいこととあります。日頃、
私たちが何の不安を抱くこ
ともなく、平和で豊かな暮
らしを営むことの出来ませう

また、私も、自衛隊協定会隊区
連合会といたしましては、市
民の自衛隊に対する正しい認
識と理解を持っていただくた
めに、組織の充実を図り、よ
り豊かな住みよい街づくりを
目指して、今後さらに創意工
夫を重ね、関係各位のご期待
に応えますので、どうか本
年も変わらぬご支援、御協力
を賜りますようお願い申し上
げます。

我が国もその国際情勢の中で
安定的に永続した自民党政権
の交代、百年に一度と言われ
る農作物の不作、終わりのな
い日米貿易摩擦交渉、そして
自衛隊初のPKO派遣と世界
的な激動変遷の年でありまし
た。

進めていく決意を新たにす
て、岩見沢市にとって大き
な飛躍をめざして、第一歩を
踏み出す年になります。
岩見沢駐屯地は、今年創立
四十一周年、第十二施設群創
設十九周年を迎えられ、国際
平和、国を守る業務の遂行
さらには地域振興等に努力を重
ねておられる隊員の皆様に敬
意を表すとともに、私は市民
本意のまちづくりをさらに強
く進めてまいりますので、隊
員の皆様の一層のご理解と協
力をお願いいたします。

新しい年が、隊員の皆様に
とって良い年であることを祈
念申し上げ、年頭のご挨拶と
いたします。

国内外で思いもかけないほど
の重大な出来事が起こり、そ
れがそのまま私たちの生活の
周辺にまで影響を及ぼしてき
た、そんな一年ではなかつた
かと思えます。

世界情勢、国内経済の目ま
ぐるしい変化、こうした世の
中の動きを素早く読み取り、
最大限の努力をしてゆく自衛
隊、適切な対処が出来る信頼
される自衛隊として技術の習
得と普及不屈の精神を養い、
国民の付託に応えられるよう
切望してやまないものです。

「一治にいて乱を忘れず、乱
にいて治を忘れず」夢想の防
衛力縮小論の中に敵として存
在し、連日訓練に精進する自
衛隊の姿は国家国民の輝かし
い未来を約束するものである
ことを銘記すべきであると信
じます。

と、第二、第三の職場でそ
れぞれが活躍しながら自衛隊
と一般との一掛け橋として
の立場にあります。本年も決
意を新たにしております。

以上日頃の思いを述べまし
たが、国民の自託に応える自
衛隊の皆様が本年も健康で隊
務に精励されますよう心から
祈念し新年のご挨拶といたし
ます。

我々隊員は、自衛隊員とし
て過去に勤務したことを誇り

と、第二、第三の職場でそ
れぞれが活躍しながら自衛隊
と一般との一掛け橋として
の立場にあります。本年も決
意を新たにしております。

駐屯地諸部隊長年頭の挨拶



隊長 高橋 隆夫 業務隊 二佐

皆さん、新年明けましておめでとございます。

今年の正月はとておめでやかに明け、まるで大任を抱えた岩見沢自衛隊の門出を祝って



隊長 高橋 隆夫 会計隊 一尉

新年明けましておめでとございます

昨年八月着任以来、早五ヶ月が過ぎました。この間、P K O 活動に参加中の第十二施設群の隊員が、多大な成果



基地通信隊長 二尉 手嶋 健祐

新年明けましておめでとございます

基地通信隊も P K O 派遣駐屯地の一員として、派遣部隊及び留守家族等の支援を通



班長 杉本 勝男 警務隊 二尉

新年明けましておめでとございます

昨年 P K O で派遣された方、また、留守部隊を守った

る所存であります。年頭にあたり駐屯地の隊員及び御家族の皆様御健勝と御多幸を祈念いたしまして御挨拶と致します。

F A X、指揮システム、電子交換等を導入し、通信サービスの向上を図っております。我が基地通信隊も岩見沢駐屯地の通信の要として、また駐屯地の声の窓口として、部隊及び隊員の声を大切に、通信業務の向上を目指し、通信隊一同頑張っております。御協力をお願い申し上げます。隊員及び御家族の皆様御多幸を心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶と致します。

平成六年新年交礼会

岩見沢駐屯地では一月十八日、細川空知支庁長 能勢若見沢市長はじめ関係市町村長等約百九十名の来賓の参加のもと新年交礼会を盛大に開催した。

今年昨年の P K O 活動や駐屯地創立四十周年という節目を振り返るとともに、司令が「今年もより一層地域との



連携をとり、「貢献する、開かれた、活力ある駐屯地」として皆様とともに活動します」と挨拶。司令以下駐屯地の各部隊長や曹友会長等の紹介のあと、詩吟や琴の演奏の中、和やかな交礼会となった。

平成六年訓練始め

群は平成六年訓練始めとして、スキー機動と駐屯地内での中隊対抗による障害競技会を実施して今年の訓練を開始した。

群長の「冬季節における基本行動であるスキー技術と、雪中機動能力の向上に努めよ」の訓示の後、約七kmのスキー機動を実施した。



午後障害競技会は、リレー方式でコースの途中に網くぐり、梯子くぐり、手榴弾投擲、銃の分解結合があり、最後にアキオ組が付准尉と中隊長をそれぞれ乗せて、ゴールを目指しタイムを競った。結果は第三三五施設中隊が優勝した。

曹友会長新年の挨拶



会長 長光 会堀 長堀

新年あけましておめでとございます。曹友会長に上番

駐屯地曹友会も、司令初め

駐屯地創設以来の歴史に残る

ことになりました。昨年は当国連平和維持活動に九十七名の隊員の皆様に参加し、全員無事任務を完了し帰国の勇姿に接したのがつい昨日のような気が致します。

各部隊長の御指導、御支援により日進月歩ながら成果を上げつつあります。今後の会活動と致します。會員一人一人の知恵・力を借り、司令の要望でもあります「貢献する、開かれた、活力ある駐屯地」の一翼を担うべく充実した会活動を実施する所存です。

柏崎建設設計事務所 建築設計 代表取締役 柏崎 昭明 時代を一步リードした 中庭のあるモデル住宅

Iwamizawa Heiankaku 二人の時間を刻みたい よろしければ... Phone. 0126-23-4581 Free Dial. 0120-201143

おしゃれの店 洋品のマルカワ 高橋邦夫 岩見沢市3条東1丁目 ☎221224

隊友会岩見沢支部

平成五年度を振り返って



支部長 長進 副支部長 支崎 副長

平成五年度は、我が国において史上に残るあらゆる大きな出来事が続出した。まず第一に国政においては長期にわたって政権を握っていた、自民党政権が野党に変わり、細川政権が誕生したこと、また、景気の低迷はここまで続くのか、底が見えない情勢である。加えて、長崎雲仙普賢岳の噴火から三年を経た今日でも噴火が続いている。北海道では、昨年一月に釧路沖地震、七月に北海道南西沖地震と立て続けに大地震及び大津波が発生した。また、鹿児島では、大水害が発生したり、これに追い打ちを掛けるように冷夏に見舞われ、我が国の作物は大打撃を受けた。

このような出来事は皮肉にも、世情と事と同じくしており平成五年度は、厳しい社会情勢で新年度を迎えることになった。

一方、自衛隊においては、PKO派遣で岩見沢の部隊が派遣され、立派な業績を残して無事に帰還されたことは、本当に何よりのことであり、そして、自衛隊であればこそあれだけのことができたというところを、国際的にも、また、一般国民にも高く評価され、「自衛隊自衛隊ここに在り」の

認識を日本国中に広めたことと思う。

このことは、一朝一夕に出来るものではなく、普段の訓練の賜物であり、今後とも厳しい訓練に耐えて進進されるよう期待しています。

いまや国際時代の世の中になつてきて一人日本だけが金を出せば済む社会ではなく、ウエルグアイ・ラウンドの問題にしても世界と伍して行かなければならない時期にきたようである。新年度が移りあることを祈つてやまない。

定山渓で紅葉を見ながら一杯

(第一回は十二名が参加して楽しむ)

十月二十三日から二十四日の二日間、有志十二名が集まり、送迎の車で定山渓に向かい入浴を楽しむ。外はちょうど紅葉が赤、黄、青色と山並みの景色が美しく、あたたかみ風情を見せているかのような錯覚を覚える風景であった。そのような風景の中で入浴するのは、また格別の情緒を感じた。



まじめな顔でハイ

夜は、ノンベエの果まわりとあって時間の経つのも忘れて喋り、四方山話に花が咲き、二次会、三次会と進みあつたと言つ間に十時二時の時報となり時間を惜しみながら就寝となった。

歳を取ると朝の起床は早いもので、六時頃にはもう始まる人が入浴をしてケロリとして

ボウリング大会楽しむ

(ボウリング参加者三十六名、懇親会参加者四十一名) 例年実施しているボウリング大会を今年も平成五年十一月十四日午後二時から岩見沢トナーホールで開催した。

OB会員と現職隊員も入って和気あいあいの競技となった。時々ガーターで溝掃除したり、まぐれのストライクが入ったりその度に「あー」とか歌声の叫びも上がり、子供に返つたような雰囲気でも経過した。一年に一回のボウリングだけに上手、下手は別として楽しい午後の一時間となった。無事に終了した後は、例により懇親会を「どんとん亭」で行った。

開始に当たり、岡田支部長から挨拶があった後、ボウリング大会の成績発表があり、賞品も飛び賞などがあり、全

「年を納めて」

理事 川東 若男

平成五年十二月十八日、岩見沢駐屯地内「目の出クラブ」で隊友会四十四名と来賓の現職隊員が一同に参加して恒例の忘年会を開催しました。当日は、猛烈な吹雪に見舞われ参加者の欠席も予想されたが、さすがは元自衛官だけあって全員参加し会場は一杯の盛況となった。

初めに岡田支部長から挨拶があり、「当支部の事業に隊員が積極的にご支援をいただきたいことに対するお礼と、自衛隊のPKO派遣に対する温かいご支援のお礼」についての概略挨拶のあと、懇親会に入り一同は、一年に一回の顔合わせもあつたりして話は尽きなかつた。

途中、ゲームや隊友会の帽子とブレザー(案)について紹介があり、各種の記念行事などで着用し、隊友会ありの存在をPRするのによいとの

間が過ぎた。二次会は、各個前進でそれぞれの得意先へと前進した。 長崎 記

宝石創業86年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

(株)太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
TEL 0126223353 223354

ビル管理部、北海道知事登録・元・清・第6号

はしもと商事有限会社

メンテナンスに関する事なら
お任せ下さい。

親切・丁寧・確実

TEL・FAX **22-5546**
(0126)

岩見沢市駒園5丁目6

オール電化マンション

レジエント
(有) エイ

連絡先：岩見沢市6条西7丁目
☎22-0087

総合商社

株式会社 君島商会

本社	岩見沢市南町8条2丁目	☎22-4613
氷文支社	岩見沢市志文町2条3丁目	☎22-5813
栗沢支店	栗沢町本町10	☎45-2068
石油部	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-4565
自動車部	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-5434
オートザム岩見沢	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-7961
コンパス岩見沢	岩見沢市南町8条2丁目	☎24-8390
グランドビル 岩見沢駅前店	岩見沢市南町8条2丁目	☎25-4840

年男の抱負



中隊長 菅 勇
第336施設 上杉

新年明けましておめでとうございます。さて、人生の半分を生きてきた男として、反省並びにこれからどう生きて行きたいかを書いてみたいと思います。

まず、反省として、この世に生まれて四十八年間、元気で未来を見つめて語れることは良しとして考えるべきことと思っております。と言うのは、人間の欲望に上限がないし、自分の能力、財産、地位を総合的に判断しての結論である。

さて、これからの人生をどう生きるかにより自分の一生が決まってくると思う。特に、最近になって(父の死後)、一日一日の大切さについて考えさせられます。しかし、私には一日の大切さということに判定は出来ません。従って自分の人生計画の中にいくつかの目標を作り、それに向かって前進、努力する事と思つます。手始めにカナダでのスキー旅行を立案し、今年の抱負したいと思います。



隊 官 学 務 田 枝 川

新年明けましておめでとうございませう。昭和五十七年四月に防衛庁技官として採用され、早くも二回目の「戊辰」年を迎えるにあたって、まず仕事面では駐屯地の各電気設備の保守、管理、点検を確実に実施するとともに常に改善意識を持ち、皆さんの勤務、生活・住環境が快適に過ごせることを目標に心掛けていきたい。また、上司、部下隊員から信頼される係長として自己の知識、技能を高めて行きたい。



隊 長 信 野 秀 基
第3基地 今野

代は「あっ」という間に過ぎ去ったようで、三十代になってからも三人の子供に恵まれ、又、PKOにも参加する等貴重な経験も積んだ。

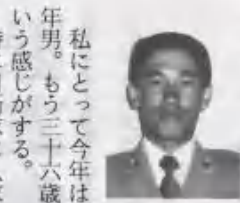
自衛隊生活も半分が過ぎ、折返し点だ。今までのベースを崩さずに、常にチャレンジ精神を忘れずに頑張ろうと思つた。

若者たちよ。まだ負けないぞ。「いつでも、掛かってこんかい!!」



中隊長 器材 長 善 美 河 目
第312施設

今年には俺様の年である。年男の抱負としては特にありませんが、昨年と同様に従来通りに仕事をすることであり、架橋手又は操縦手としても頑張っていきたいと思つていま



中隊長 曹 高 正 杉
第336施設 上杉

私にとって今年には三回目の年男。もう三十六歳なのかという感じがする。

特に自衛隊に入隊してから月日の経つのは早く、二十

また家庭面では、家庭円満、一家庭健康第一に明るく、思いやりのある家庭でありたい。そして、趣味であるテニスに二層の磨きを掛け、納得のいくテニスに仕上げたい。以上、今年の抱負として四つの目標を著実に遂行していくとともに皆さんの役に立つ営繕業務(電気)を目指したい。

今年には俺様の年である。年男の抱負としては特にありませんが、昨年と同様に従来通りに仕事をすることであり、架橋手又は操縦手としても頑張っていきたいと思つていま

新成人の抱負



中隊長 長 亨 塚 善
第335施設

駐屯地の皆様、明けましておめでとうございませう。成人するにあたり、これからの目標を述べたいと思つています。

二十歳になると選挙権が与えられます。今までは政治や経済について無関心でしたが、これからは政治や経済について目を向けていきたいと思つています。他にお酒を飲むことや煙草などが許されますが、煙草は吸わないようにしていきたいし、お酒は付き合い程度に飲んでいきたいと思つています。

まだ二十歳になったばかりで、まだまだ先は長いですが責任と自覚のある行動を取りたいと思つています。



中隊長 士 昌 功 里
第342施設

昨年の秋、私は暗れて成人を迎えることができました。以前は早く二十歳になりたいとか、早く大人になりたいと思つていました。

二十歳になると、今までの出来ることが出来るような気がしたり、周囲の人の見方なども多少なりに変わるのではないかと、気持ちがありました。だけど、実際に思ったことも考えると、自分の意思など持たないといけないし、社会の一員だといふ自覚も持たないといけないと思つています。

しかし、逆に考えるとそれだけそういうことを考え、仕事をしっかりやり、他の面でも頑張っていけたらきっと良い大人になるんじゃないかと思つています。そのためにも、これからしっかり頑張っていきたいと思つています。



中隊長 久 博 深 井
第337施設

平成三年の春、学生気分が抜けないままに曹候補士を受験し、合格しました。候補士に配属になりました。

自衛隊での生活に馴れ、後輩も入隊してきたり目まぐるしく一年が過ぎて、昨年五月には満二十歳の誕生日を迎えました。いよいよ大人の仲間入りをしたのかなと思うと同時に、今までのような気分では

駐屯地整備工事完成

駐屯地では、平成五年四月以降六件の施設局直轄工事を実施中のところ、十一月二十九日工事の完了に伴い、新築なった車両整備工場において竣工落成式を実施した。

式には、部隊側から司令及び業務隊長はじめ各米賓として、自衛隊協力会若見沢隊区連合会長の笠原喜平治氏、防衛施設局から石井建設部長、前業務隊長の影井二佐等の列席を戴くとともに、工事関係者多数が参加し、各施設の完成と今後の作業整備等の安全を祈願し厳粛なうちに終了した。

イレが設けられ、暖房もストーブからスチームに変更された。(4)受電室の心臓部となる受配電設備が新設され最新式のキュービクルに変わり給電能力がアップした。(5)道路舗装は、管理官倉庫から陶芸場までの三百mと一号隊舎前の未舗装もアスファルト化した。(6)十九号整備工場から弾薬庫までの道路に五基の外灯が設置され一段と明るくなった。

以上が今年度の施設局による直轄工事です。その他、自隊工事ではモータープール地区に新設プレハブ保管庫二棟が九月末完成しました。これら各施設は、長い間全隊員が待ち望んでいたものであり一段と勤務環境が向上した。



完成した各施設の特徴を紹介すると、(1)車両整備工場の屋根、壁の断熱化、出入口のオーバードアヘッドドアの整備用ピット二基が増設され、また、火災報知設備も設けられ安全面で一段と向上した。(2)新設洗車場は六百二十坪の中に二基のRC造地上式ピットが設けられた。(3)新設ショップは整備員事務室、部品工具室、洗面所、ト



これも一重に歴代の司令はじめ諸先輩の努力の賜物が、現在の素晴らしい勤務環境を作り上げたものと隊員一同感謝をし皆様の来隊をお待ちしています。



訓練始め (1.11)



新成人祝賀会 (1.14)



新年交礼会 (1.23)



冬季運動会 (2.20)

写真で見る
平成5年の
岩見沢駐屯地



カンボジア派遣隊員出発 (3.9)



新隊員入隊式 (4.11)



得田司令着任 (7.6)



3施団球技大会優勝 (5.25)



司令杯少年野球大会 (6.5~19)



カンボジア派遣隊員帰国 (9.14)



自衛隊写真展 (9.14~15)



創立40周年記念式典 (10.11)



司令杯少年少女剣道大会 (11.21)



駐屯地年忘れ大会 (12.21)

近江建設株式会社
 特定土木建築許可 一級建築士事務所
 代表取締役会長 近江 章
 代表取締役社長 近江 雅章
 本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話 23-3026
 FAX 25-6582
 支店 札幌市中央区北1条西20丁目 電話 643-2669
 岸本ビル4F FAX 643-2616
 支店 三笠市唐松町1丁目374 電話 2-3179

安心とゆりのプラン
協栄生命 LL・ワイド 15 50 100
 更新型
 余裕資金を上手に活かして大型保障
 協栄の保険料頭金制度をご利用ください
 定期特約付終身保険
協栄生命保険株式会社

安心しっかり
 愛車もしっかり
車検費用積立プラン
富士火災
 担当 松浦直樹
 岩見沢支社 Tel 23-5142

昇任おめでとう

【第十二施設群】

三等陸佐へ

群本部

一等陸尉 池田 哲夫

二等陸尉 相笠 康雄

群本部

二等陸尉 高木 茂

准陸尉へ

本部管理中隊

陸曹長 岸良 省三

本部管理中隊

一等陸曹 福永 秀美

同 河原 裕幸

第三三七施設中隊

一等陸曹 夏井 昇

第三三五施設中隊

二等陸曹 長谷川一訓

第三三六施設中隊

二等陸曹 川上 茂二

第三三七施設中隊

二等陸曹 菅野 光男

同 宇佐美俊彦

第三四二施設中隊

二等陸曹 細井 智

本部管理中隊

二等陸曹 池田 隆一

第三三五施設中隊

三等陸曹 岩崎 剛

第三三二施設中隊

三等陸曹 星山能之介

第三二二施設器材中隊

三等陸曹 鹿子木一徳

同 古澤 義之

本部管理中隊

陸士長 斎藤 護

同 高橋 進一

同 亀石 満明

第三三六施設中隊

陸士長 三澤 剛

同 森 武臣

第三三七施設中隊

陸士長 谷 充晃

第三二二施設器材中隊

陸士長 村尾 孝昭

第三四二施設中隊

陸士長 小松 和憲

同 下江 進治

【業務隊】

陸曹長へ

一等陸曹 門脇 孝行

二等陸曹へ

三等陸曹 戸村 正行

【警務隊】

二等陸尉へ

三等陸尉 杉本 勝男

【基地通信隊】

三等陸曹へ

陸士長 白鳥 容子

II 陸曹候補生指定 II

本部管理中隊

陸士長 谷脇 学

同 遠目塚 進

第三三五施設中隊

陸士長 鈴木 義貴

第三三七施設中隊

陸士長 長谷 英明

第三二二施設器材中隊

陸士長 秋田 好胤

御結婚おめでとう

第三三六施設中隊

三曹 上村 修司



7月2日

第三二二施設器材中隊

三曹 河原 康史



10月29日

第三三七施設中隊

三曹 石井 篤



11月1日

第三二二施設器材中隊

士長 笹岡 竜太



11月12日

第三三七施設中隊

三曹 今泉 英雄



11月27日

第三三七施設中隊

一尉 山本 九士



12月19日

第三三七施設中隊

士長 斎藤 尚樹



12月19日

第三三七施設中隊

二曹 星山 龍之介



12月23日

こんにちは赤ちゃん

業務隊 事務官 堀江 学

第三三六施設中隊 三曹 上村 修司

長男 樹くん 11月2日

長男 昇平くん 11月25日

- 本部管理中隊
- 永塚 昇 荘司 大晃
- 松浦 高升 正野 直人
- 櫻田 珠美
- 第三三五施設中隊
- 洪谷 成史 田中 隆三
- 熊倉 規人 菊地 啓一
- 善塚 亨 高橋 剛
- 第三三七施設中隊
- 井深 博久 佐伯 洋一
- 小熊 晶 岩田 洋一
- 砂浜 勉
- 第三二二施設器材中隊
- 佐々木伸敏 高田 勇次
- 瀬川 達也
- 第三三六施設中隊
- 戸田 登 磯辺 俊一
- 木村 亮一 清水口通泰
- 佐々木利樹

Mobil モービル石油株式会社

大西商事株式会社

本社 岩見沢市5条西17丁目1番地の1

TEL 22-3430 FAX 25-7240

■東 給 油 所 岩見沢市8条東12丁目14番地の23 電話(0126)24-5363番

■LANSON岩見沢6条店 岩見沢市8条東12丁目14番地の16 電話(0126)22-8866番

■大 和 給 油 所 岩見沢市大和2条3丁目50番地 電話(0126)22-2241番

■インター給油所 岩見沢市駒園8丁目3番地の1 電話(0126)22-2255番

■LANSON岩見沢のり店 岩見沢市駒園8丁目3番地の1 電話(0126)24-3200番

■一 条 給 油 所 岩見沢市1条西9丁目5番地 電話(0126)25-1611番

■商 事 部 岩見沢市5条西17丁目1番地の1 電話(0126)22-2242番

人としての時代としてのモニュメントを大切に

渡辺石材工業 株式会社

■本 店 〒068 岩見沢市8条東11丁目 TEL (0126) 25-2545 FAX (0126) 23-4567

自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内

支部長：勝井祐輔

TEL：0126-22-3445

株式会社 本堂建設工業

取締役社長 本堂 春夫

本 社 三笠市幾春別町4丁目 電話 (01267) 6-8288 FAX (01267) 6-8030

札幌支店 札幌市白石区本通1丁目南1 電話 (011) 861-1381 FAX (011) 865-5034

石狩支店 石狩町花川南1条1丁目11 電話 (0133) 73-3111 FAX (0133) 73-0757

500人収容の大宴会場から中小宴会場

お待ちしております

ホテルザンブラガ

岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788

千葉電気工事株式会社

代表取締役 千葉 嘉男

岩見沢市東山町2番地71

電話 (0126) 24-4567番

●年金と医療保険のバイオニア

●生涯の保障に終身保険(明朗)

頭金制度により毎月安い保険料で大きな安心

東邦生命

担当 深沢 隆子 (内327)